

2021年3月期

## 第2四半期 決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

**LECIP**  
GROUP

2020年11月

▶ **1. 2021年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況**  
:P3~P13

■ **2. 2021年3月期 通期業績予想・配当の状況**:P15~P17

■ **3. 中期経営計画:CA2020の取り組み状況**:P19~P26

■ **【ご参考資料】**:P28~P38

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

## 全般概況

### 前年同期比

売上高：  **大幅減収**    損益面：  **大幅減益**

## セグメント別業績の概況

### 輸送機器事業



- 首都圏バス用ICカードシステムの更新需要の一巡により、運賃箱やICカードリーダーライタなどの売上が大きく減少。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、業界全体の設備投資の抑制傾向続く。

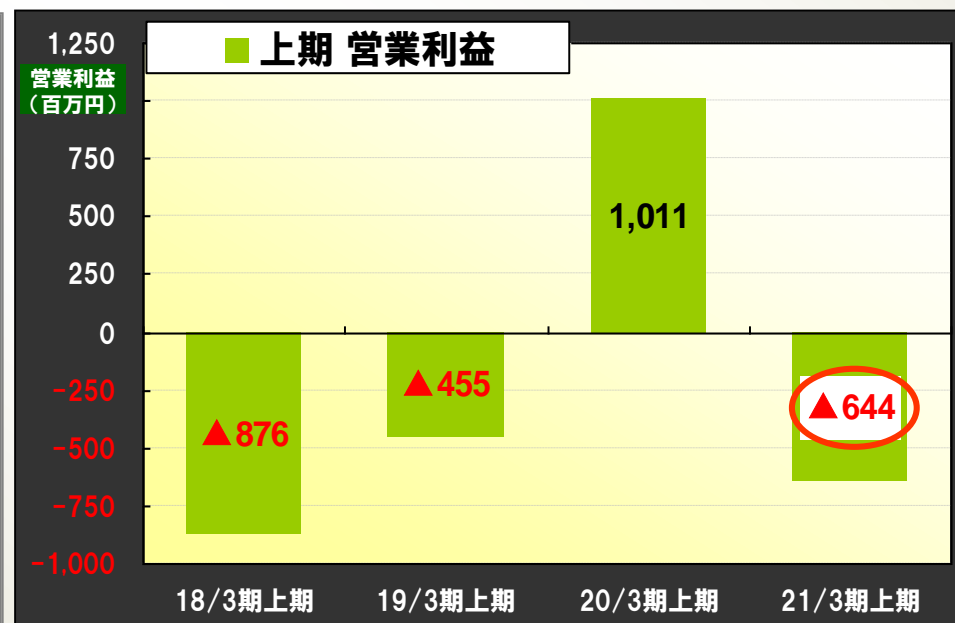
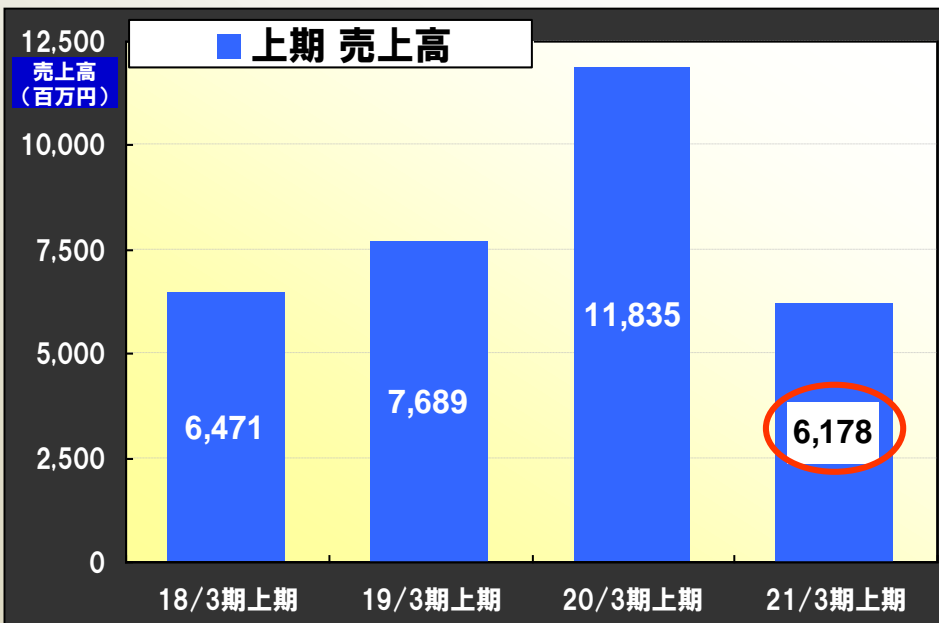
### 産業機器事業



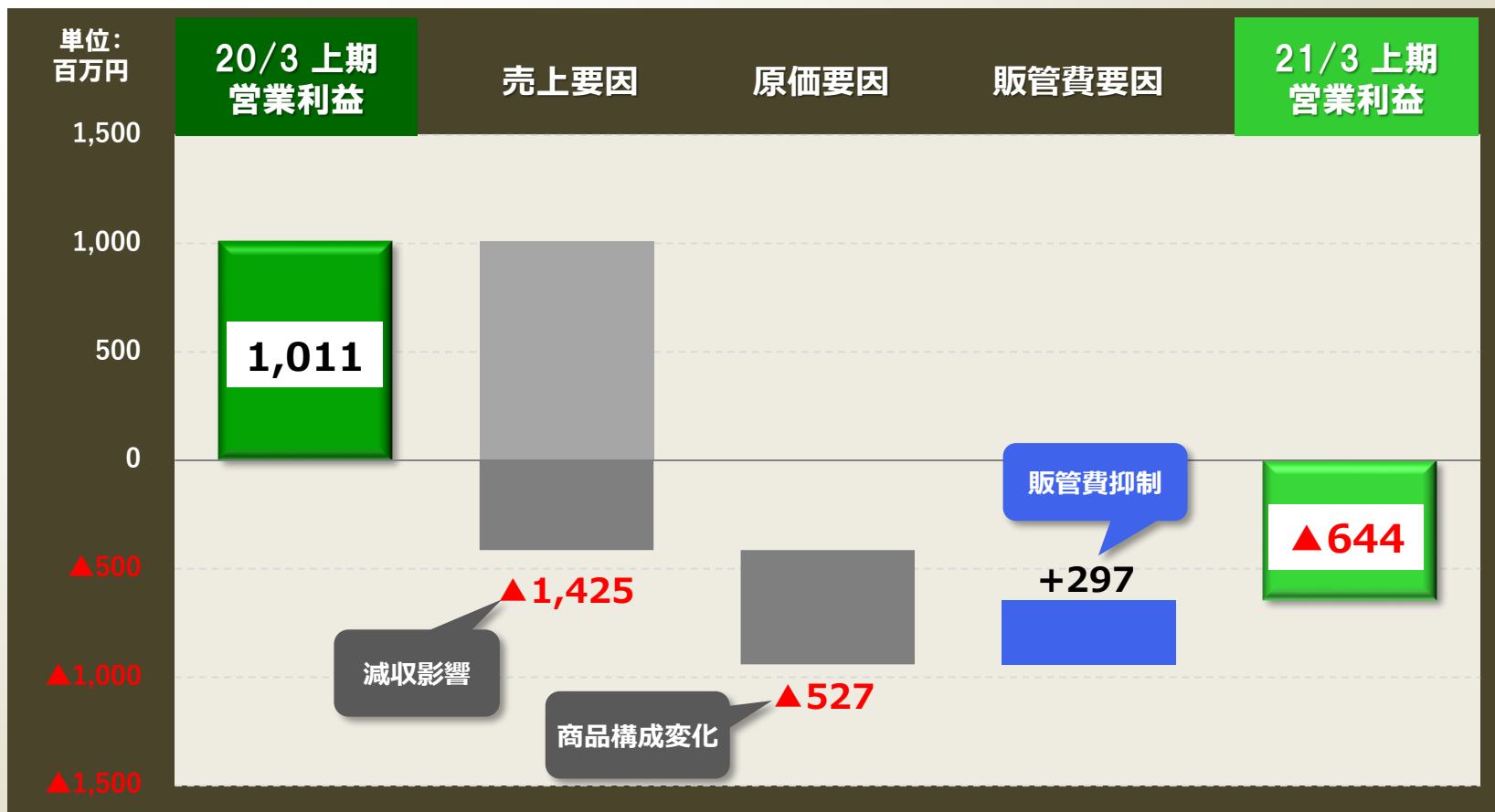
- 第1四半期を中心に、自動車メーカー様の生産調整の影響受け、自動車向けプリント基板実装の受託が減少。

# 2021年3月期：上期業績の要約

【連結】 上期業績 (単位:百万円)	2020年3月期 上期		2021年3月期 上期			
	① 前期実績	構成比	② 当期実績	構成比	前年同期比 増減額 ②-①	前年同期比 増減率
売上高	11,835	100.0%	6,178	100.0%	▲5,657	▲47.8%
売上総利益	2,982	25.2%	1,029	16.7%	▲1,952	▲65.5%
営業利益	1,011	8.5%	▲644	▲10.4%	▲1,655	-
経常利益	979	8.3%	▲644	▲10.4%	▲1,624	-
四半期純利益	398	3.4%	▲493	▲8.0%	▲891	-



# 2021年3月期：上期 営業利益の増減要因



- 売上要因 : 主力の輸送機器事業の売上が大きく減少。
- 原価要因 : 商品構成の変化等により悪化。
- 販管費要因: 事務委託費、出張旅費、運送費、給与及び賞与等の減少。

# 2021年3月期：上期セグメント別業績

売上高 (単位:百万円)	2020年3月期 上期		2021年3月期 上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	8,907	75.3%	3,868	62.6%	▲5,039	▲56.6%
産業機器事業	2,906	24.5%	2,288	37.0%	▲617	▲21.3%
その他事業	21	0.2%	21	0.4%	+0	+0.0%
<b>連結売上高</b>	<b>11,835</b>	<b>100.0%</b>	<b>6,178</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲5,657</b>	<b>▲47.8%</b>

営業利益 (単位:百万円)	2020年3月期 上期		2021年3月期 上期			
	前期実績	構成比	当期実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	932	89.8%	▲558	91.0%	▲1,491	—
産業機器事業	102	9.9%	▲58	9.5%	▲161	—
その他事業	3	0.3%	3	▲0.6%	+0	+4.3%
計	1,038	100.0%	▲613	100.0%	▲1,652	—
消去・全社	▲27	—	▲30	—	▲3	—
<b>連結営業利益</b>	<b>1,011</b>	<b>—</b>	<b>▲644</b>	<b>—</b>	<b>▲1,655</b>	<b>—</b>

## ▶ 輸送機器事業：上期売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前年同期比 ▲50億39百万円 ▲56.6%

■ 営業利益: 前年同期比 ▲14億91百万円 — %

### バス市場

前年同期比: ▲47億56百万円(▲64.6%)

- ▶ バス用液晶表示器などの売上は増加。
- ▶ 首都圏バス用ICカードシステム更新需要の一巡により、運賃箱やICカードリーダーライタ等の売上が大きく減少。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響による業界全体の設備投資抑制も影響。



### 鉄道市場

前年同期比: ▲2億64百万円(▲24.7%)

- ▶ 前年にあった、消費税増税に伴う運賃データ書き換え需要が一巡。
- ▶ 米国の鉄道車両用灯具の納入一服。  
⇒ 来期から、NY地下鉄車両向け大型案件の本格納入始まる。



### 自動車市場

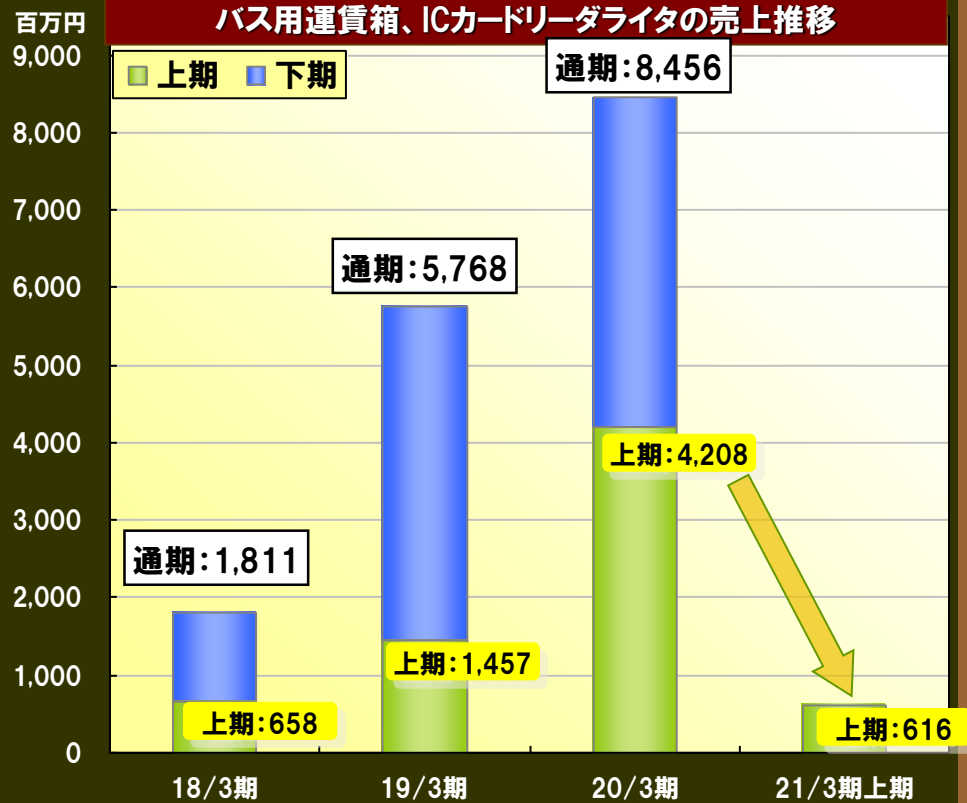
前年同期比: ▲18百万円(▲4.0%)

- ▶ トラックメーカー様の生産調整等の影響により、トラック用灯具の売上減少。



## 国内バス用運賃箱、ICカードリーダーライタ

バス用運賃箱、ICカードリーダーライタの売上推移

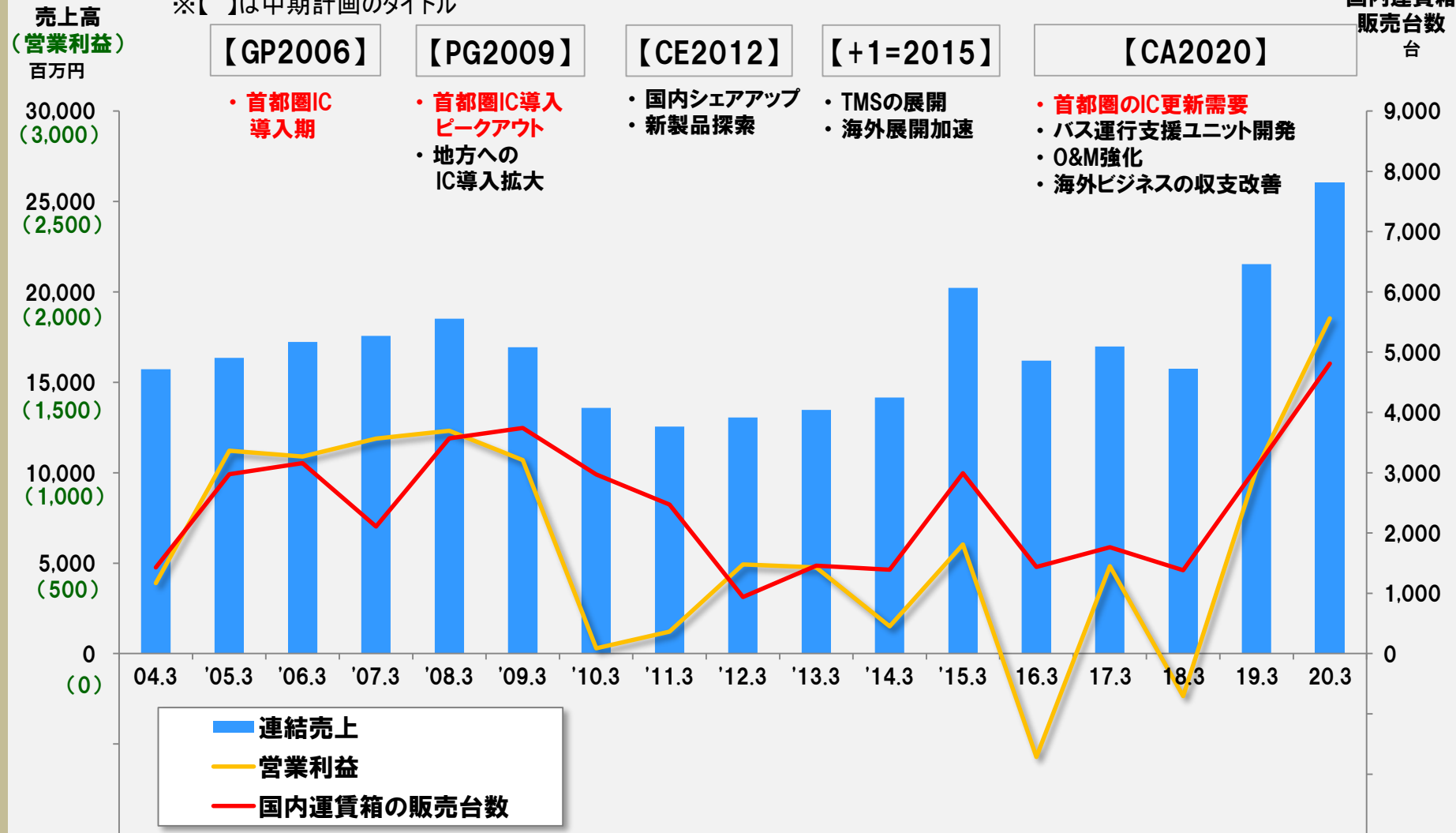


- 2021年3月期 上期の売上高:6億16百万円 (前年同期比 ▲35億91百万円 ▲85.4%)。
- 首都圏の更新需要案件はピークアウト。首都圏以外の地域への展開図る。
  - ▶ 既に導入されている首都圏以外の地域の更新需要への対応と併せ、ICカード未導入地域への展開進める。

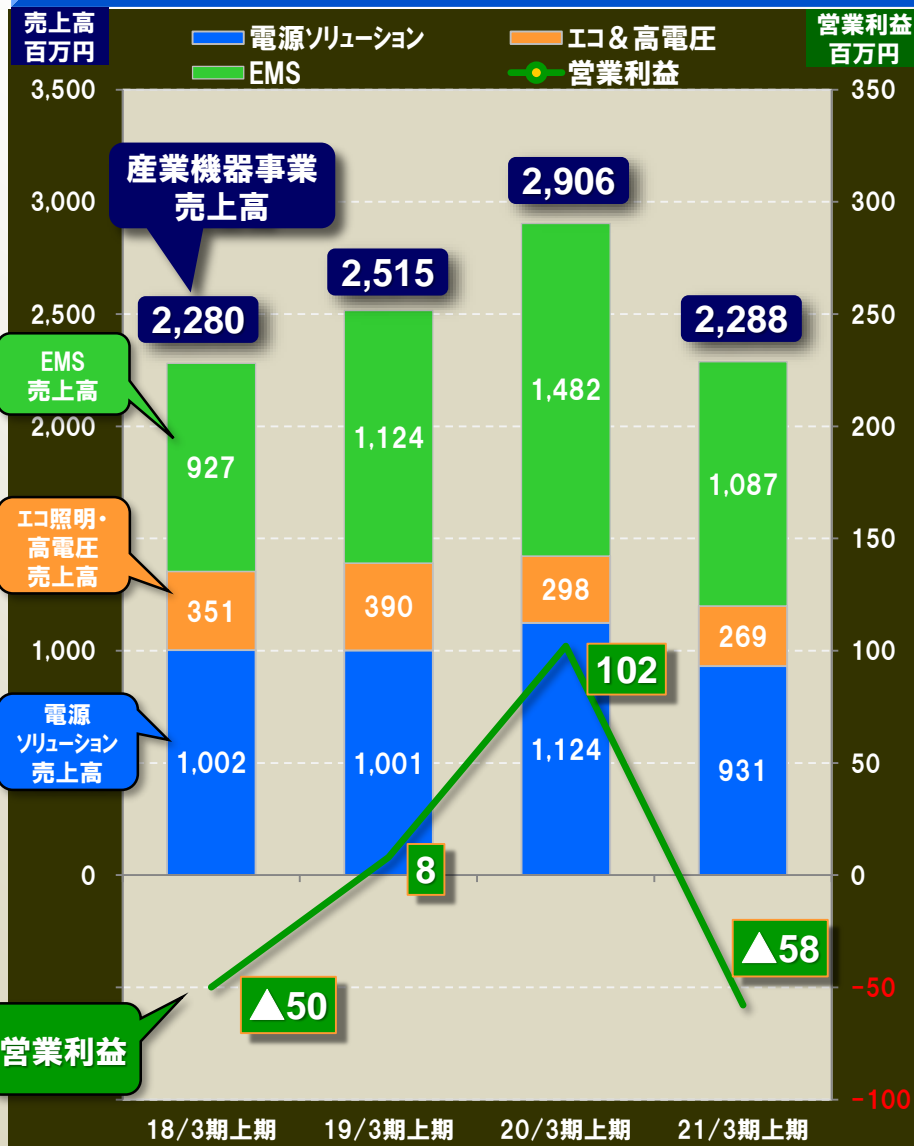


## ▶ (ご参考): バス用運賃箱の販売台数と業績推移

※【 】は中期計画のタイトル



## ▶ 産業機器事業：上期売上高・営業利益の推移



**売上高**：前年同期比 ▲ 6億17百万円 ▲21.3%  
**営業利益**：前年同期比 ▲ 1億61百万円 — %

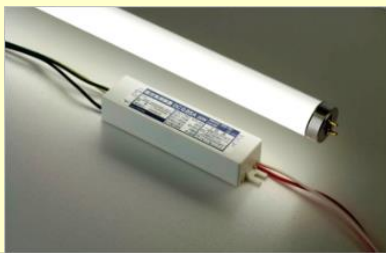
### 電源ソリューション市場

前年同期比：▲1億93百万円(▲17.2%)  
 ▶ CATV基地局用無停電電源装置の売上増加。  
 ▶ フォークリフトの販売が落ち込むなか、フォークリフト用充電器の売上減少。



### エコ照明・高電圧ソリューション市場

前年同期比：▲29百万円(▲9.9%)  
 ▶ 道路灯や街路灯、工場天井灯などのLED照明化が進むなか、直管型LED照明灯具の売上増加。  
 ▶ 屋外看板の掛け替え需要低迷により、LED電源の売上減少。



### EMS市場

前年同期比：▲3億94百万円(▲26.6%)  
 ▶ 足元の需要は回復傾向にあるものの、第1四半期を中心に、自動車向けプリント基板実装の受託が大きく減少。

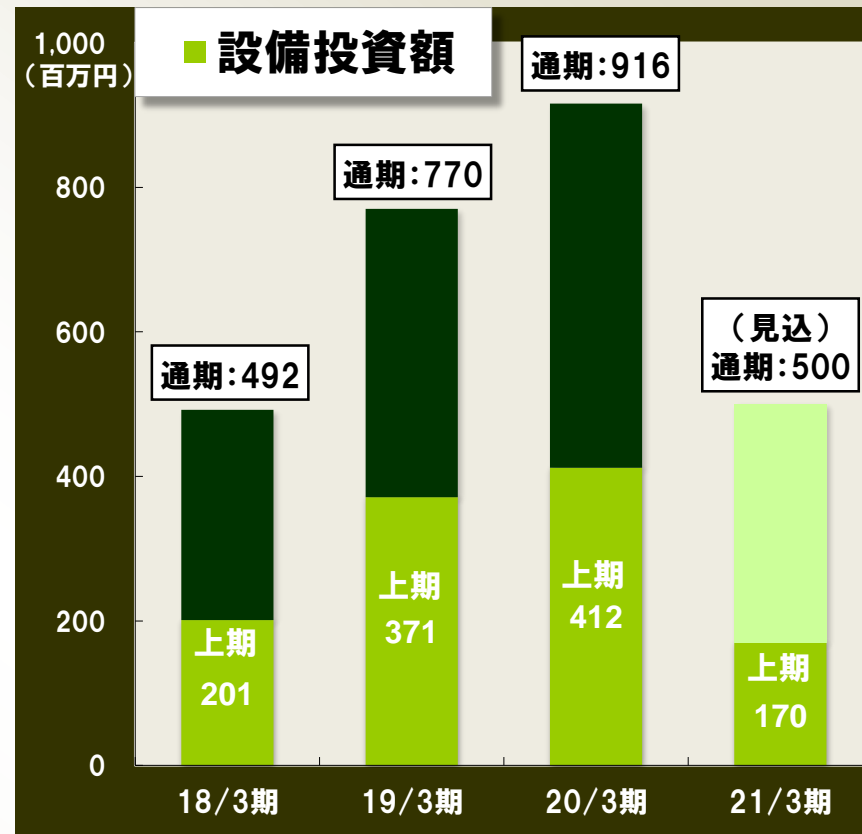
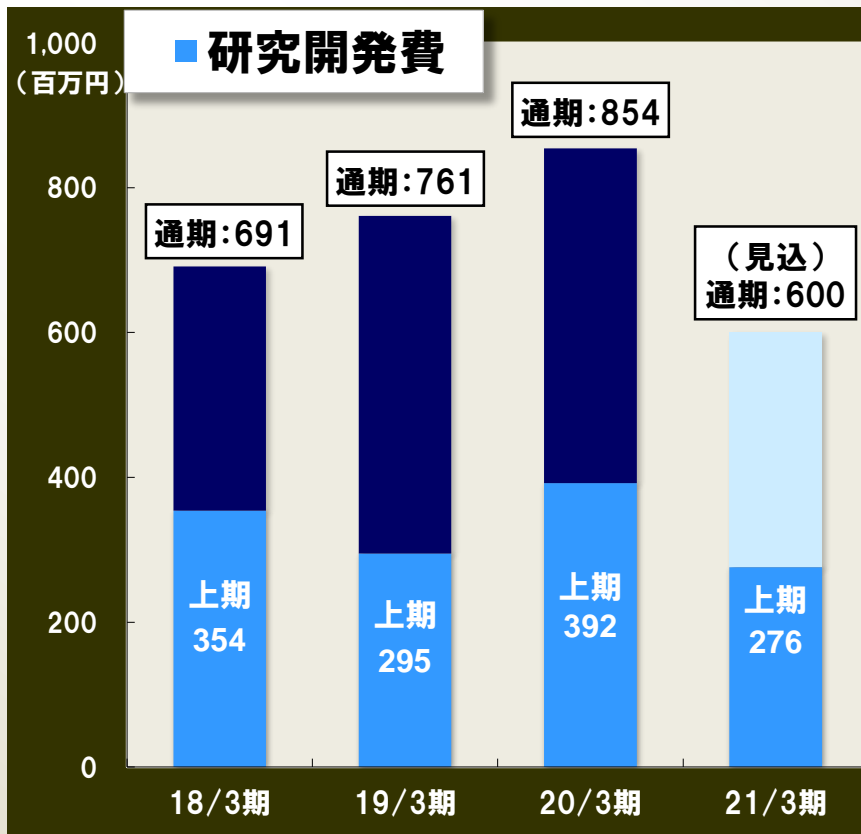


# 連結損益計算書

【連結P/L】	2020年3月期 上期		2021年3月期 上期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	11,835	100.0	6,178	100.0	▲5,657	
売上原価	8,853	74.8	5,148	83.3	▲3,704	
売上総利益	2,982	25.2	1,029	16.7	▲1,952	
販売管理費	1,970	16.7	1,673	27.1	▲297	事務委託費 : ▲1億09百万円 出張旅費 : ▲73百万円 給与及び賞与 : ▲62百万円 製品保証引当金繰入額 : ▲45百万円 運送費 : ▲30百万円
営業利益	1,011	8.5	▲644	▲10.4	▲1,655	
営業外収益	12	0.1	36	0.6	+23	助成金収入 : +21百万円
営業外費用	44	0.4	36	0.6	▲7	支払利息 : ▲5百万円
経常利益	979	8.3	▲644	▲10.4	▲1,624	
特別利益	-	0	-	0	-	
特別損失	73	0.6	4	0.1	▲68	減損損失 : ▲48百万円 投資有価証券評価損 : ▲19百万円
税金等調整前純利益	905	7.7	▲649	▲10.5	▲1,555	
法人税等合計	507	4.3	▲156	▲2.5	▲664	
四半期純利益	398	3.4	▲493	▲8.0	▲891	

# 連結貸借対照表

【連結B/S】	2020年3月期 期末		2021年3月期 上期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	11,233	75.9	9,964	72.8	▲1,268	受取手形及び売掛金 : ▲3,026百万円 現金及び預金 : +1,279百万円 商品及び製品 : + 262百万円 仕掛品 : + 180百万円
固定資産	3,558	24.1	3,731	27.2	+172	有形固定資産 : ▲ 100百万円 無形固定資産 : + 50百万円 投資その他の資産 : + 222百万円
資産合計	14,791	100.0	13,695	100.0	▲1,096	
流動負債	8,454	57.2	7,945	58.0	▲509	電子記録債務 : ▲ 729百万円 未払金 : ▲ 630百万円 未払法人税等 : ▲ 572百万円 未払消費税等 : ▲ 353百万円 支払手形及び買掛金 : ▲ 326百万円 賞与引当金 : ▲ 179百万円 短期借入金 : +2,436百万円
固定負債	1,259	8.5	1,194	8.7	▲64	長期借入金 : ▲ 36百万円 リース債務(固定) : ▲ 44百万円
負債合計	9,713	65.7	9,140	66.7	▲573	
純資産合計	5,078	34.3	4,555	33.3	▲522	利益剰余金 : ▲610百万円
負債・純資産合計	14,791	100.0	13,695	100.0	▲1,096	



● **研究開発費：通期 前期比 減少見込み。**

⇒ 業績動向等を踏まえ、前期比減少を見込むものの、キャッシュレス決済対応や、路線バス運行支援ユニット「LIVU」の機能拡充等の開発は継続。

● **設備投資額：通期 前期比 減少見込み。**

⇒ 前年にあった社内ITインフラ投資や、事業所内の設備更新等が一段落したことに伴い、前期比減少見込み。

1. 2021年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況  
:P 3~P13

▶ 2. 2021年3月期 通期業績予想・配当の状況:P15~P17

3. 中期経営計画:CA2020の取り組み状況:P19~P26

【ご参考資料】:P28~P38

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

## 通期業績予想のポイント

- ▶ 通期の業績予想は、売上高、利益ともに、大きく減少する見通し。
- ▶ 下期以降も、引き続き、コスト削減に努めていくものの、売上高減少の影響大きく、減益通し。
- ▶ 当期純利益は、海外子会社の税効果未認識の影響により、損失計上見通し。

セグメント | 前期比 減収減益予想:内容

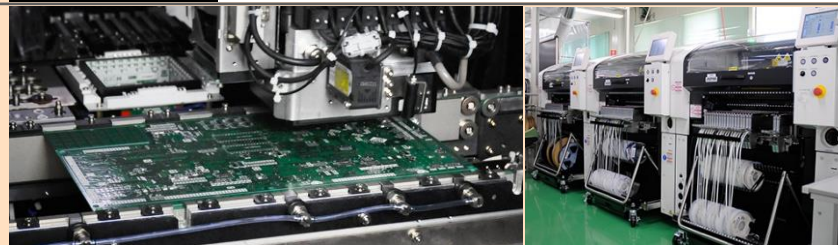
### 輸送機器

- 下期以降も、首都圏バス用ICカードシステム更新需要の一巡により、バス用運賃箱やICカードリーダーライタ等の売上が反動減。
- 新型コロナウイルス感染症の影響による業界全体の設備投資の抑制により、バス市場向け製品全般の売上低調。



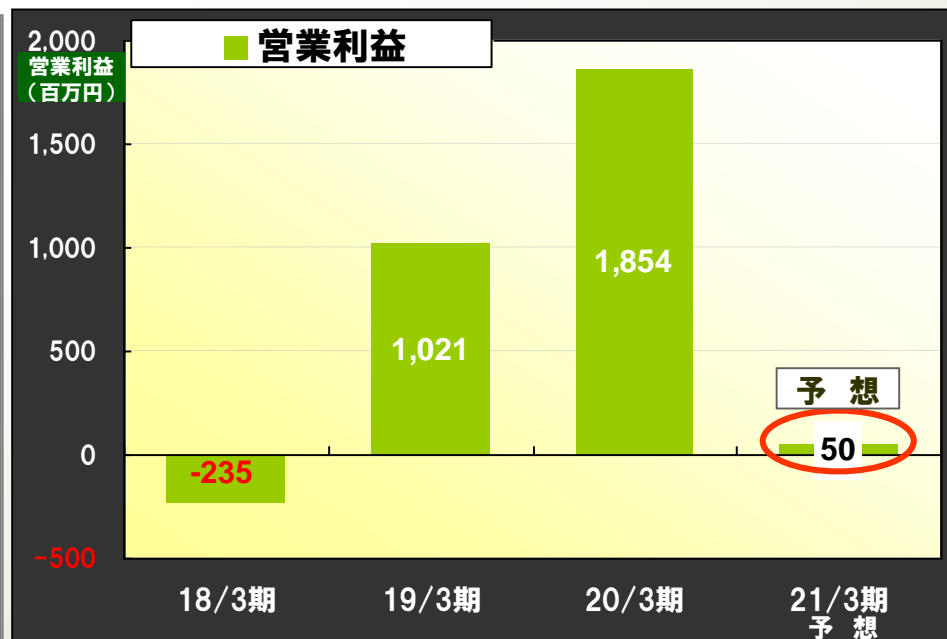
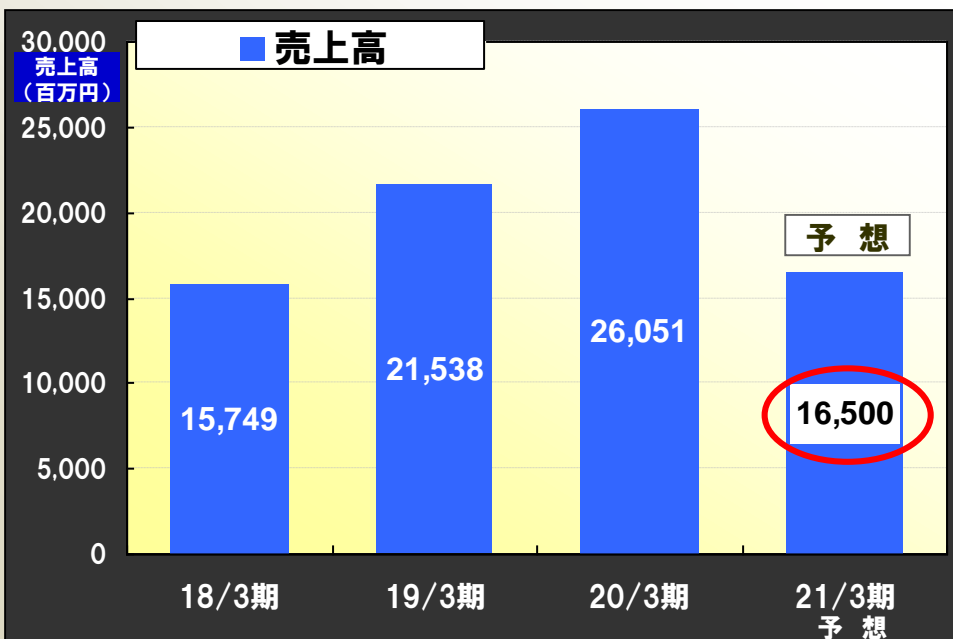
### 産業機器

- 自動車向けプリント基板実装の受託は、足元では回復傾向が続いているものの、通期ベースでは、前年実績を下回る見通し。



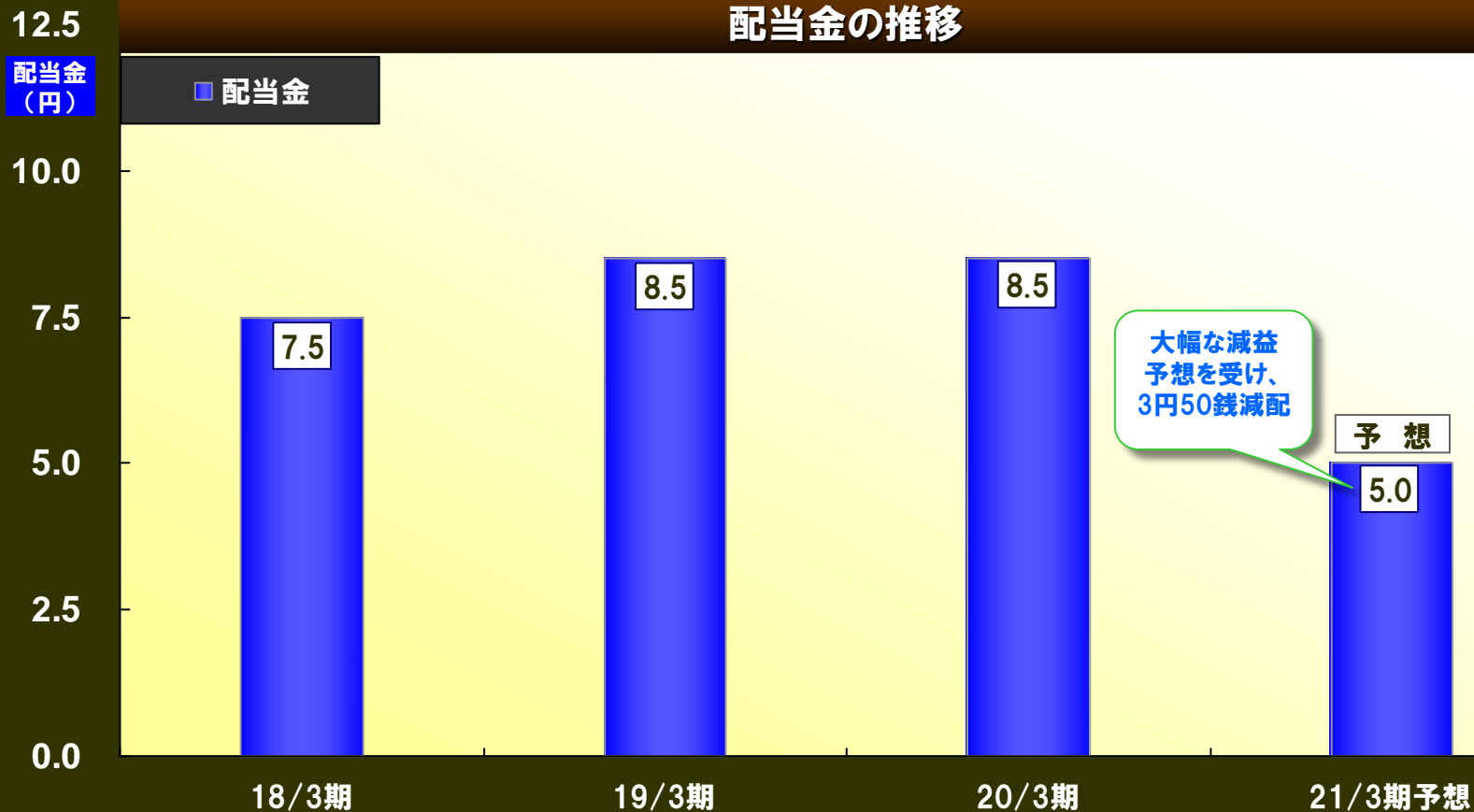
# 2021年3月期：通期業績予想

連結業績予想	2020年3月期		2021年3月期		前期比	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	業績予想 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	26,051	100.0%	16,500	100.0%	▲9,551	▲36.7%
営業利益	1,854	7.1%	50	0.3%	▲1,804	▲97.3%
経常利益	1,830	7.0%	50	0.3%	▲1,780	▲97.3%
当期純利益	891	3.4%	▲170	▲1.0%	▲1,061	—
E P S (円)	74円39銭	—	▲13円34銭	—	—	—





## 配当金の推移



- 2021年3月期の配当予想: 前期比3円50銭減配の、5円00銭
- 継続的かつ安定的な利益還元に努める。

1. 2021年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況  
:P 3~P13

2. 2021年3月期 通期業績予想・配当の状況:P15~P17

▶ 3. 中期経営計画:CA2020の取り組み状況:P19~P26

【ご参考資料】:P28~P38

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

## 【中期経営計画：CA2020】

### 期間

2016年4月～2021年3月までの5年間

### タイトル

「Challenge Again 2020（CA2020）」  
～安定的な売上200億円に向けて、チャレンジ・アゲイン～

### 重点課題

1. 「MaaSの実現に向けた新しい価値の創造」
2. 「育成分野への経営資源のスムーズな移行」
3. 「海外ビジネスの黒字化」
4. 「業務プロセス改善による生産性の向上」



## 「MaaS」の実現に向けて

### MaaSの概念 Mobility-as-a-Service

A地点からB地点に市民が移動する際に、鉄道・バス・タクシー・カーシェア・バイクシェア・徒歩等の様々な移動手段の中で最適な手段を最適な価格で系統的に提供できるプラットフォームを、社会が市民に提供するという概念。

当社グループとしては、全体のシステムの最適化に向け、下記の分野において貢献を果たす。

- ◆ **Ticketing & Fare Collection**  
発券及び運賃收受
- ◆ **Planning, Reporting & Analyzing**  
計画、報告、分析
- ◆ **Operation Support & Real-Time Passenger Information**  
運行支援及びリアルタイム乗客情報サービス
- ◆ **Fleet Management**  
車両管理

## 運行支援ユニット「LIVU」の拡販 ～ バス運行業務の自動化・軽減化・最適化 ～

### 路線バス 運行支援システム

【販売開始日(一部)】



ひとつのユニットにアプリを入れることで音声放送やバスロケーション等の機能が実現できます。



【販売開始日(一部)】

#### ●【主な機能】

- ▶ GPS活用による、車内の自動案内放送機能、運賃表示器・運賃データの自動更新機能。  
⇒ **バス乗務員の運行業務負担を軽減。**
- ▶ 運転席のディスプレイで、運行経路ナビ表示、停留所ごとのダイヤ時刻表示等、乗務員へのお知らせ機能。  
⇒ **リアルタイムで運行状況の確認が可能となり、安心・安全・正確な運行をサポート。**
- ▶ バス車載機器から得られる乗客の乗降データ、車両運行データ(走行距離、燃費、所要時間等)など、バスの運行に関するあらゆるデータの収集、一元管理、目的に応じたアウトプットが可能。  
⇒ **収集した様々なデータを活用することで、バス事業者様のオペレーションの最適化をサポート。**



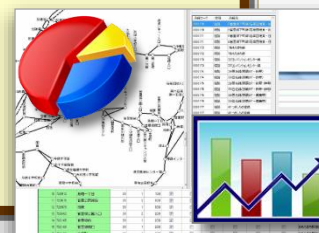
#### データ一元管理



#### データ収集・アウトプット、データ活用



- 路線バスの運行を支援するプラットフォーム型のユニット「**LIVU** (LECIP Intelligent Vehicle Unit)」の拡販推進。
- バスの**運行業務**を支援する様々な機能の提供が可能。
- 将来的には、**バス車載機器の自動化**における中心的な役割を果たす製品、バス事業者様の、**オペレーションの最適化**に貢献する製品として、路線バスへの標準搭載を目指す。



## 海外ビジネス展開

地域

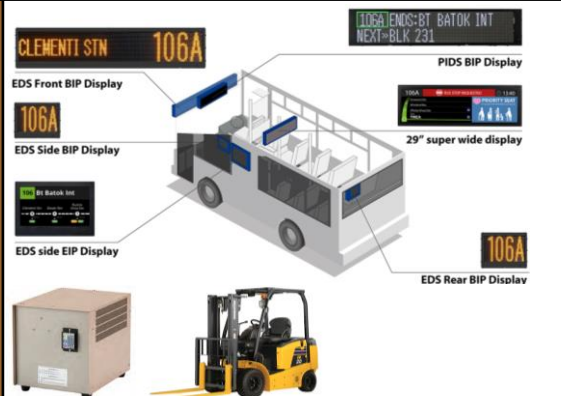
取組内容

北米



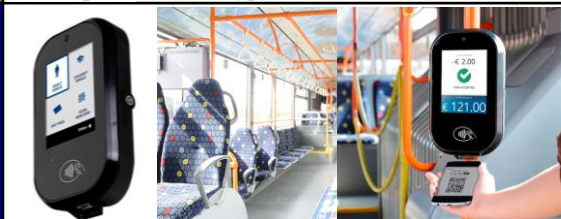
- バス市場
  - 昨年9月に、新型運賃箱の市場投入を行い、営業活動強化。
    - ▶ 幅広いニーズへの対応が可能に。
- 鉄道市場
  - 鉄道灯具のビジネスは、NY通勤車両向けの納入に続き、NY地下鉄車両向け大型案件(来期から本格納入予定)の準備を進める。

アジア



- シンガポール
  - 運賃箱と発券機については、現地で100%のシェア獲得。
  - バス運行管理システムの保守・メンテナンスを継続。
  - LED式行先表示器や液晶表示器の納入拡大。
- タイ
  - 現地の日系フォークリフトメーカー様向けを中心に、バッテリー式フォークリフト用充電器の販売を堅調。

欧州



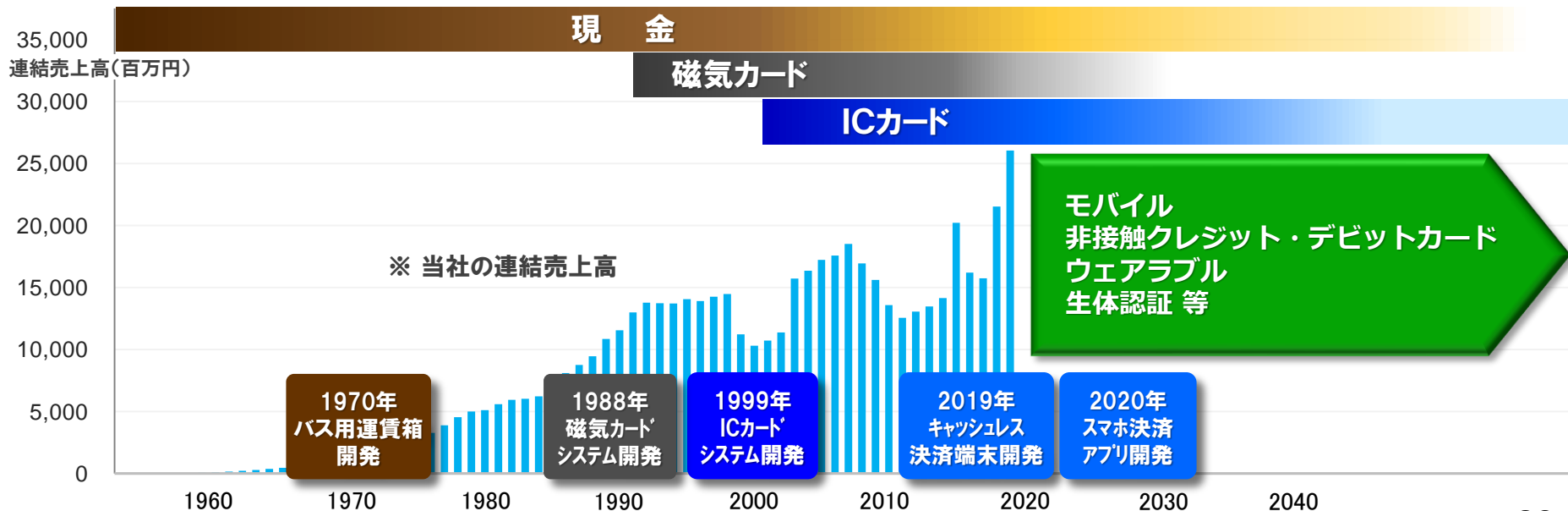
- 多様なキャッシュレス決済対応の新型バリデータ(運賃収受機器)開発。
- クレジットカードの国際的な統一規格「EMV認証」取得済。
  - ▶ 欧州市場に加え、日本国内含め、グローバルな販売をめざす。

## 運賃決済手段の潮流

### ● キャッシュレス社会・自動運転(無人運転)化に向けた、新たな決済手段の登場。

- ▶ 海外では、非接触クレジットカード対応や、QRコードを使ったモバイルペイメントによる決済が増加。
- ▶ 日本国内においても、経済産業省が、キャッシュレス決済の比率を2025年までに4割へ高める目標を掲げる。
- ▶ 当社も、今後の方向性を見極めるべく、産官学連携の「キャッシュレス推進協議会」に加入。

～1960年代	1970～202X年		202X年～
車掌による現金收受	ワンマン機器の導入	デジタル化(自動計算)	自動收受
ツーマン運転の時代	ワンマン運転の時代		自動運転(無人運転)の時代



## キャッシュレス決済への対応

- スマホ アプリ「QUICK RIDE」の開発 ～ 全国の交通系チケットを、スマホ アプリで購入可能 ～



- 乗客の利便性向上。
  - ▶ 販売窓口に行くことなく、スマホからチケット購入可能。営業時間や場所にとらわれず、いつでも、どこでも購入OK。
  - ▶ 乗降時は、スマホのアプリ画面を見せるだけ。紙チケットを持ち歩く必要なし。
- バス・鉄道事業者様の業務効率化とコスト低減に貢献。
  - ▶ 紙のチケットの作成や在庫管理、窓口での発行手続や売上集計などの手間が無くなる。
  - ▶ バス事業者様の人材不足が続くなか、業務の効率化とコスト低減に貢献。



## 次期中期経営計画に向けて



## 「SDGs」を意識した事業展開に向けて

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### 【レシップグループ経営理念】

「省エネルギー」・「地球環境対応」・「セキュリティ強化」を通じて、快適な日常を実現するための製品・サービスを社会に提供する。

1. 2021年3月期 上期業績の概要・主な項目の進捗状況  
:P 3~P13

2. 2021年3月期 通期業績予想・配当の状況:P15~P17

3. 中期経営計画:CA2020の取り組み状況:P19~P26

【ご参考資料】:P28~P38

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

会社名	レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	1953年3月
代表者	代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	岐阜県本巣市上保1260番地の2
資本金 (2020年9月末時点)	11億9,095万円
発行済株式総数 (2020年9月末時点)	14,178,200株
上場証券取引所	東証一部、名証一部(証券コード:7213)
連結対象会社	8社(国内4社、海外4社)
連結従業員数 (2020年9月末時点)	637名(国内:596名、海外41名)

## グループ体制

レシップホールディングス株式会社  
LECIP HOLDINGS CORPORATION

レシップ株式会社  
LECIP CORPORATION

レシップエンジニアリング株式会社  
LECIP ENGINEERING CORPORATION

レシップ電子株式会社  
LECIP ELECTRONICS CORPORATION

USA  
LECIP INC.

SINGAPORE  
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD

THAILAND  
LECIP THAI CO., LTD.

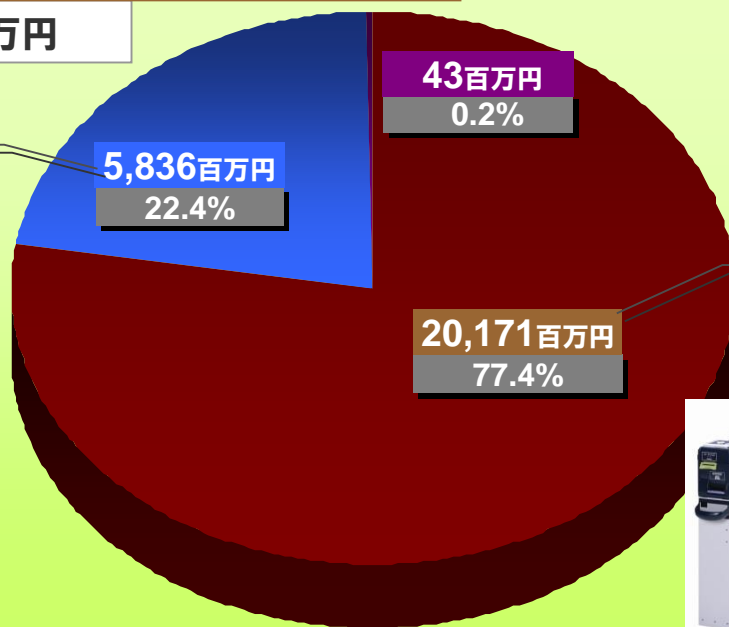
SWEDEN  
LECIP ARCONTIA AB

## 輸送機器事業

## 産業機器事業

【ご参考】2020年3月期 通期の事業セグメント別売上高

20/3期 連結売上高:26,051百万円



【産業機器事業】  
充電器、無停電電源装置、  
LED電源、  
プリント基板実装



■ 輸送機器  
■ 産業機器  
■ その他

【輸送機器事業】  
バス・鉄道用運賃箱、  
ICカードシステム、  
OBC(液晶表示器)、  
LED式行先表示機器、  
車載用照明機器



## 輸送機器事業

### ● バス市場向け製品



バス用機器搭載イメージ図

- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

### ● 鉄道市場向け製品



ワンマン鉄道用運賃箱

車内設置型ICカードシステム

車両用照明灯具

- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

### ● 自動車市場向け製品



自動車用照明灯具(車内・荷室内照明用)

LED灯具

- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

## 産業機器事業



フォークリフト用充電器



無停電電源装置・屋外用電源装置



LED電源と蛍光灯型LED灯具



プリント基板実装ライン

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- CATV基地局・通信基地局向け無停電電源装置など、各種屋外用電源装置で強み
- LED電源、蛍光灯型LED灯具を展開
- 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開。自動車向けの受託が拡大

# 【ご参考】: 主な経営指標の推移

(単位: 百万円)

主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477
営業利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526
経常利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	132	292
当期純利益率 (%)	(▲0.6)	(4.0)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755
自己資本比率 (%)	(18.4)	(23.9)	(37.1)	(38.2)	(43.5)	(51.2)	(50.3)	(54.4)	(51.3)	(48.6)
EPS(円)	▲9.02	53.85	48.14	52.34	53.69	40.80	3.27	3.67	10.40	23.43
ROE (%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8
BPS(円)	169.18	220.83	299.82	344.91	390.83	417.74	413.82	412.80	415.38	438.69

※2014年4月を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
株式分割前のEPS、BPSにつきましても、株式分割後の株数の基準でもって、算定し直し、現在と同じ基準で表示を行っております。

2014/3期以降の  
続きは、次ページへ



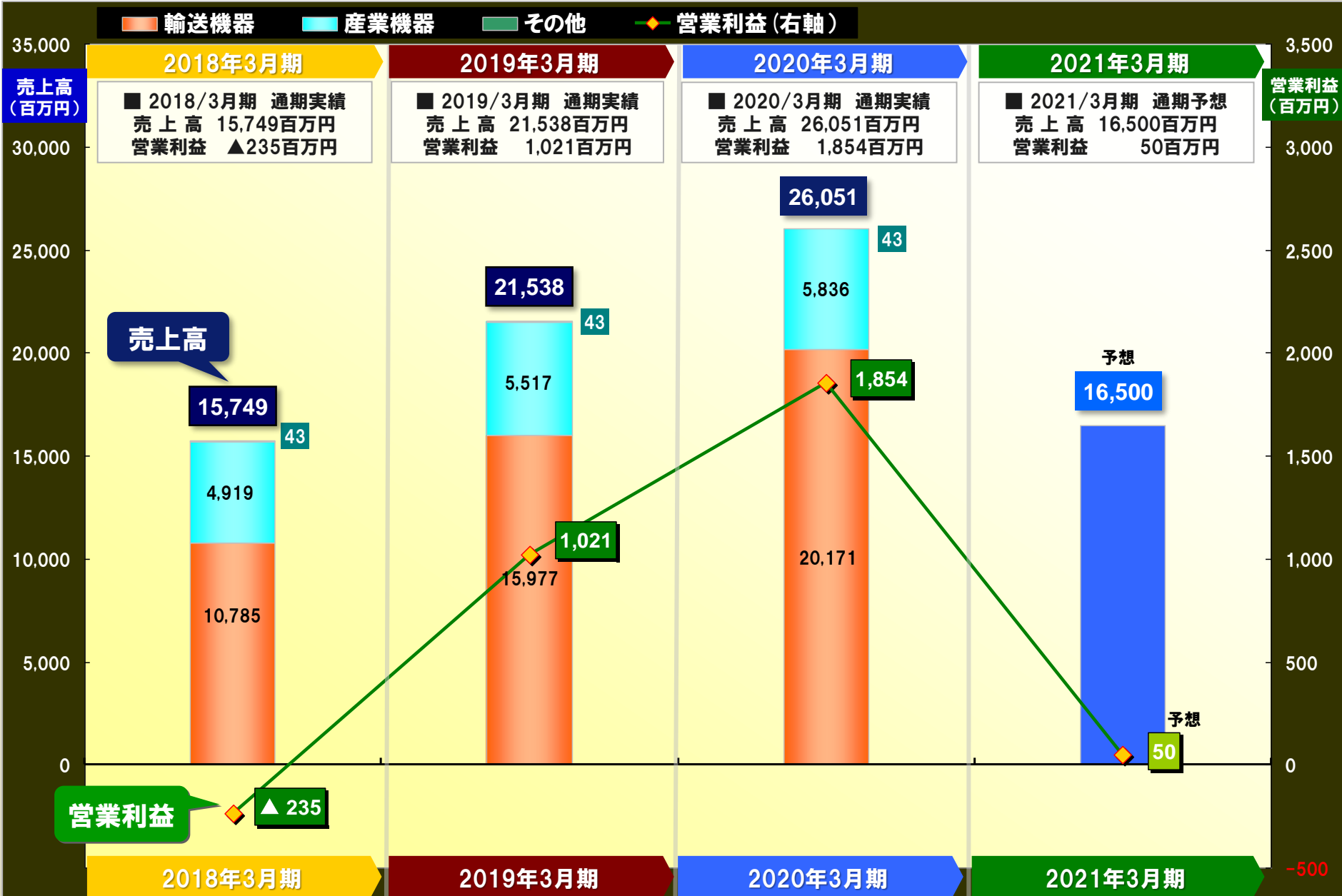
# 【ご参考】: 主な経営指標の推移

(単位: 百万円)

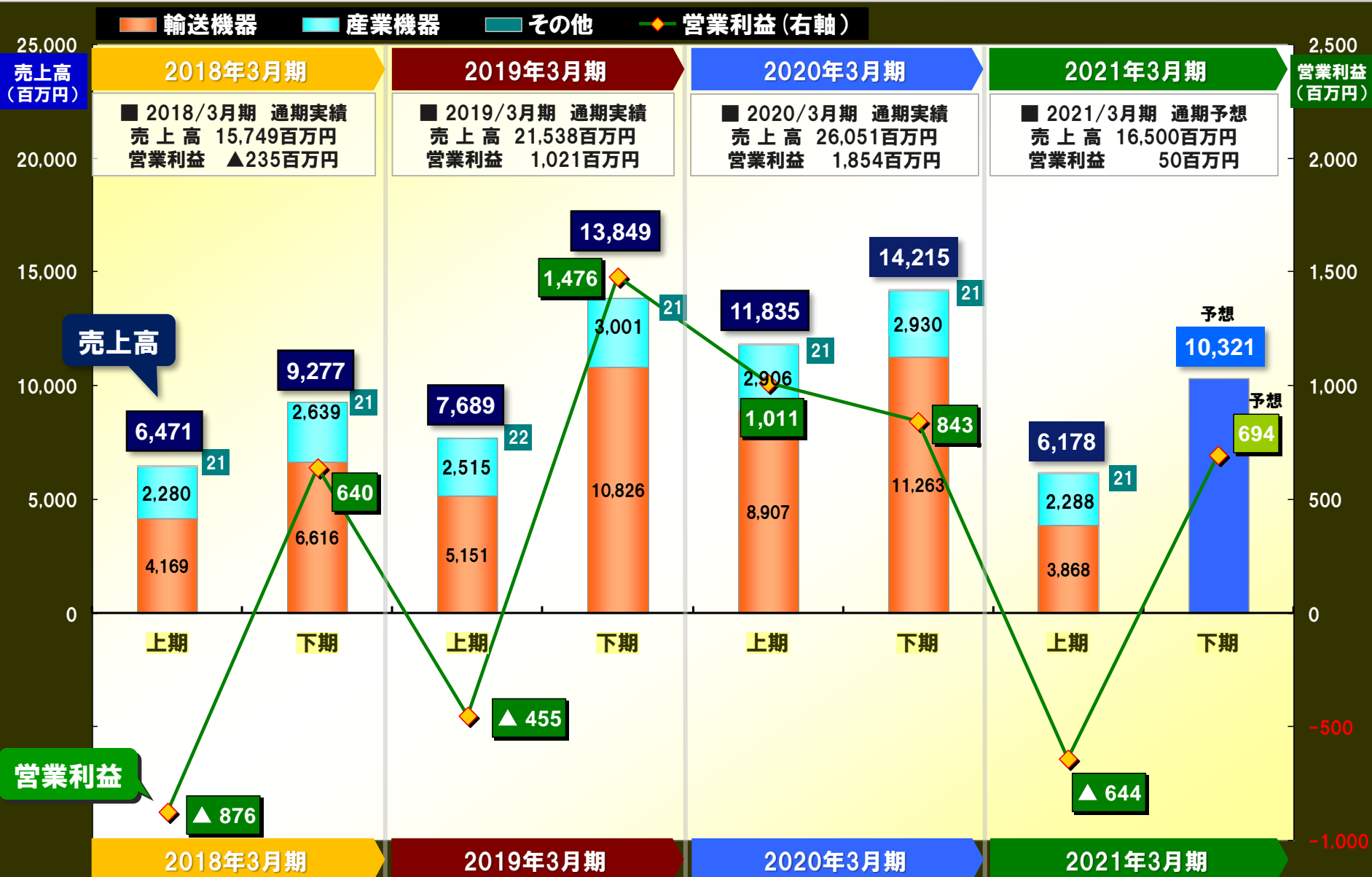
主な経営成績 指標の推移	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期 予想
売上高	14,157	20,215	16,203	16,985	15,749	21,538	26,051	16,500
営業利益	151	603	▲571	483	▲235	1,021	1,854	50
営業利益率(%)	(1.1)	(3.0)	(▲3.5)	(2.8)	(▲1.5)	(4.7)	(7.1)	(0.3)
経常利益	164	779	▲649	354	▲248	1,030	1,830	50
経常利益率(%)	(1.2)	(3.9)	(▲4.0)	(2.1)	(▲1.6)	(4.8)	(7.0)	(0.3)
当期純利益	▲98	227	▲1,378	50	▲454	438	891	▲170
当期純利益率(%)	(▲0.7)	(1.1)	(▲8.5)	(0.3)	(▲2.9)	(2.0)	(3.4)	(▲1.0)
総資産	12,677	14,431	13,173	13,048	12,465	16,445	14,791	—
純資産	4,614	4,637	3,277	3,499	2,985	3,427	5,078	—
自己資本比率(%)	(36.4)	(32.1)	(24.9)	(26.8)	(24.0)	(20.8)	(34.3)	—
EPS(円)	▲9.05	20.76	▲125.25	4.59	▲40.91	38.75	74.39	▲13.34
ROE(%)	▲2.1	4.9	▲34.8	1.5	▲14.0	13.7	21.0	—
BPS(円)	422.21	422.30	297.03	315.51	267.56	301.92	398.64	—

※2020年3月期に、新株発行(138万株)増資を行っております。

# 【ご参考】:年間業績の推移



# 【ご参考】: 上期・下期別の業績推移



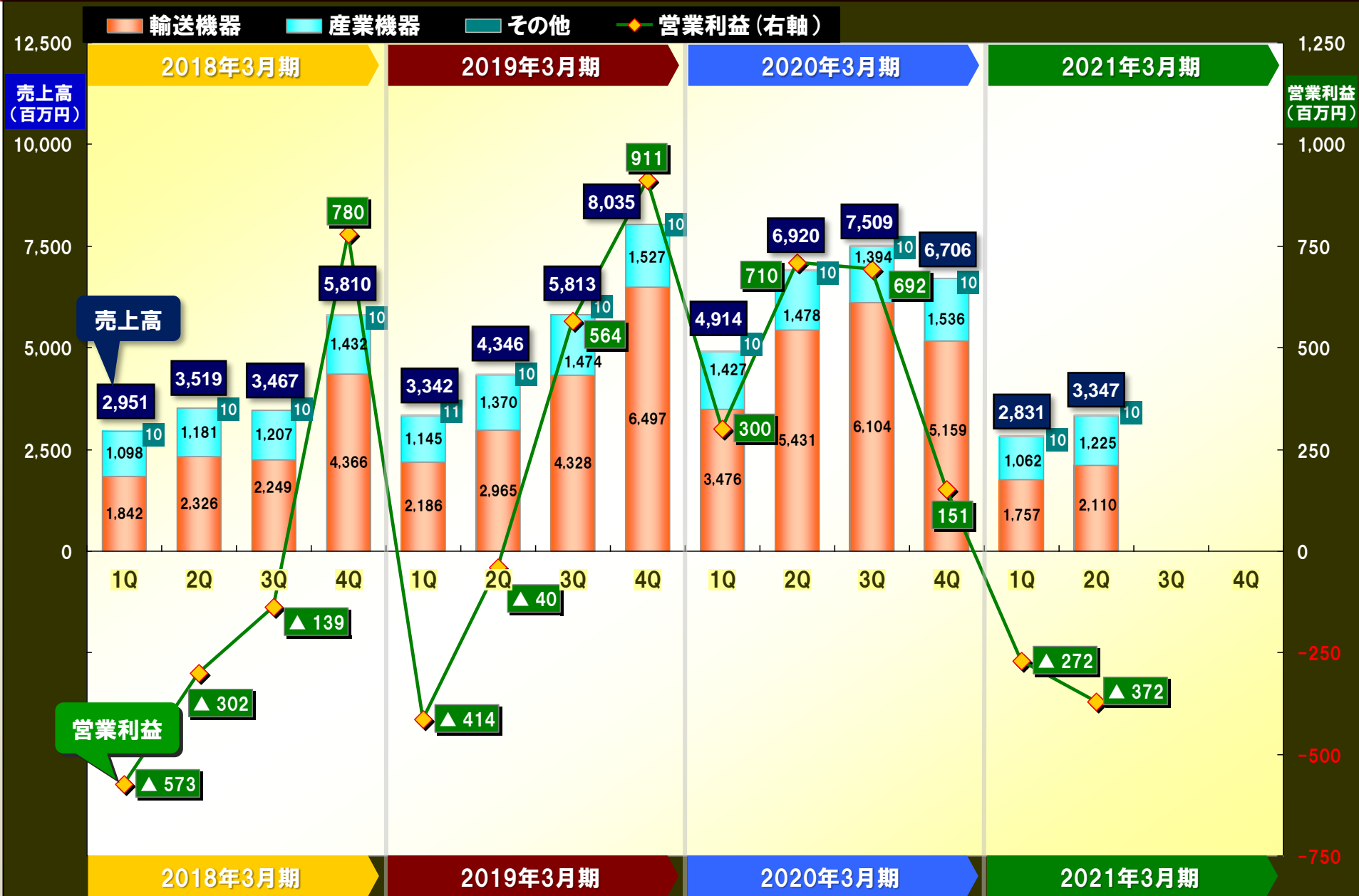
# 【ご参考】: 上期・下期別の業績推移

(単位: 百万円)

売上高	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期			2021年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
輸送機器	4,169	6,616	10,785	5,151	10,826	15,977	8,907	11,263	20,171	3,868		
産業機器	2,280	2,639	4,919	2,515	3,001	5,517	2,906	2,930	5,836	2,288		
その他	21	21	43	22	21	43	21	21	43	21		
売上高合計	6,471	9,277	15,749	7,689	13,849	21,538	11,835	14,215	26,051	6,178	(予想) 10,321	(予想) 16,500

営業利益	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期			2021年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
輸送機器	▲802	535	▲267	▲441	1,427	986	932	884	1,817	▲558		
産業機器	▲50	126	75	8	67	75	102	▲18	84	▲58		
その他	2	4	6	3	1	5	3	▲0	2	3		
全社・消去	▲26	▲24	▲50	▲25	▲20	▲46	▲27	▲22	▲49	▲30		
営業利益合計	▲876	640	▲235	▲455	1,476	1,021	1,011	843	1,854	▲644	(予想) 694	(予想) 50

# 【ご参考】: 四半期別の業績推移



# 【ご参考】：四半期別の業績推移

(単位:百万円)

売上高	2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
輸送機器	1,842	2,326	2,249	4,366	2,186	2,965	4,328	6,497	3,476	5,431	6,104	5,159	1,757	2,110		
産業機器	1,098	1,181	1,207	1,432	1,145	1,370	1,474	1,527	1,427	1,478	1,394	1,536	1,062	1,225		
その他	10	10	10	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
売上高合計	2,951	3,519	3,467	5,810	3,342	4,346	5,813	8,035	4,914	6,920	7,509	6,706	2,831	3,347		

営業利益	2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
輸送機器	▲515	▲286	▲168	703	▲386	▲54	529	897	268	664	709	175	▲215	▲343		
産業機器	▲48	▲1	39	86	▲16	24	45	21	44	57	▲4	▲13	▲42	▲16		
その他	1	1	1	2	1	1	0	0	1	1	0	▲1	1	2		
全社・消去	▲11	▲15	▲12	▲12	▲13	▲12	▲11	▲8	▲14	▲13	▲12	▲9	▲16	▲14		
営業利益合計	▲573	▲302	▲139	780	▲414	▲40	564	911	300	710	692	151	▲272	▲372		

# LECIP

## GROUP

### レシップホールディングス株式会社

---

【資料お問合せ先】

管理本部 経営管理部

電話番号：(058)323-7647

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。